


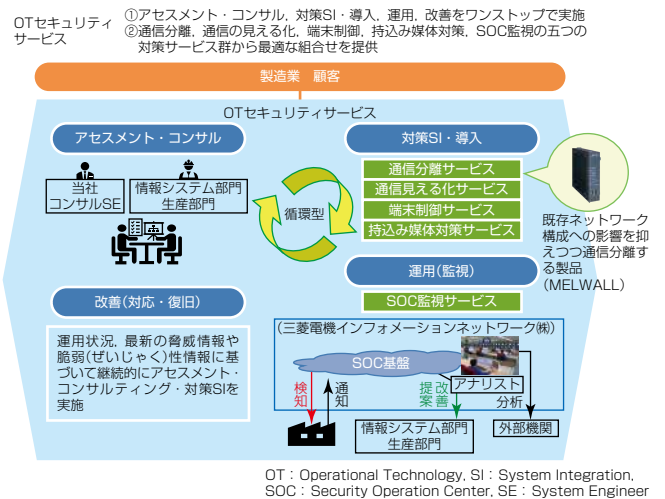
アセスメントから対策・運用までをワンストップで提供するOTセキュリティサービス 

One-stop Services for Operational Technology Security


企業ネットワークを標的としたサイバー攻撃等のセキュリティ脅威は年々増加しており、近年は国内でも制御系ネットワーク(以下“OTネットワーク”という。)への攻撃が深刻化している。企業のセキュリティ対策では、オフィス系ネットワーク(以下“ITネットワーク”という。)への対策は普及しつつあるが、ITにつながるOTネットワークへの対策は、その規模や特性によって異なる課題が生じている。そのため、アセスメントによって個々の課題を明確にして、その対策・運用までをワンストップで提供するセキュリティサービスのニーズが高まっている。

今回、ネットワークを通信分割するネットワークセキュリティ“MELWALL”等の当社保有のセキュリティ製品や運用・監視サービス(SOC)を基に、当社内製造現場での実績を活用して、2022年1月からワンストップのOTセキュリティサービスの提供を開始する。このサービスは対策・運用後にも定期的にアセスメントを実施する循環型サービスによって、継続的なセキュリティレベルの維持・

改善を特長とする。また、通信分離、通信の見える化、端末制御、持込み媒体対策、SOC監視の五つの対策サービス群から最適な組合せを提供可能にする。



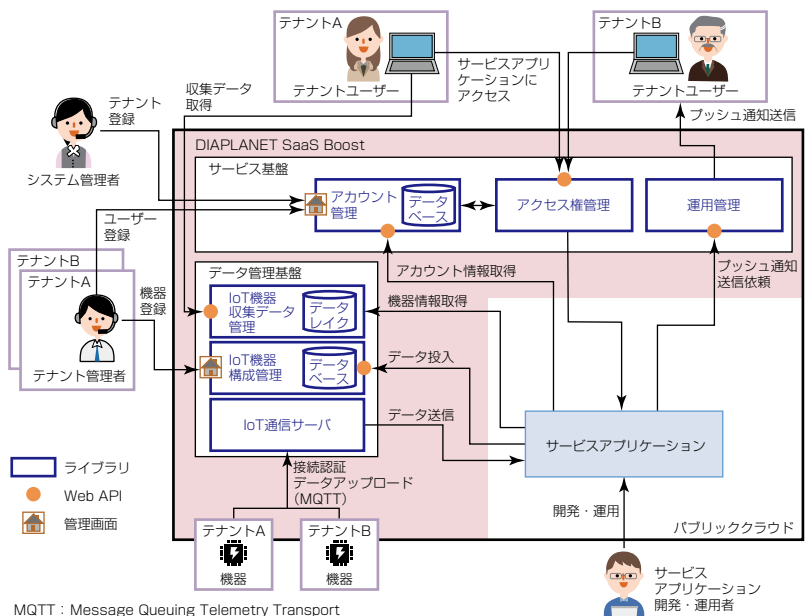
OTセキュリティサービスの概念図

SaaS事業の立ち上げを迅速化する基盤構築パッケージ“DIAPLANET SaaS Boost” 

Platform Construction Package "DIAPLANET SaaS Boost" to Accelerate Launch of Software as a Service Businesses

クラウドコンピューティングの普及に伴い、既存のパッケージソフトウェアをSaaS(Software as a Service)化して提供したい、新規にパブリッククラウドを用いてSaaSを安価に短期間で構築したいといった要望がサービス事業者から出てきている。当社では、SaaS環境の迅速な立ち上げを実現するため、SaaS基盤構築パッケージとして“DIAPLANET SaaS Boost”の開発を進めている。SaaS Boostはユーザーの管理やアクセス制御を行うライブラリ群“サービス基盤”と、IoT(Internet of Things)システム向けにIoT機器の接続承認や機器と所有者の紐(ひも)づけ、IoT機器からのデータ収集・格納等を行うライブラリ群“データ管理基盤”を提供している。各種ライブラリではクラウドプロバイダのサービスを活用し、利用負荷に応じて処理能力が自動調節されるため、運用の容易化とSaaS事業の規模に適したランニングコストを実現している。さらに、これらのライブラリは一つにパッケージ化されているため、SaaSに必要な基盤が自動的に構築でき、容易に導入が可能である。サービスアプリケーション開発・

運用者はWeb API(Application Programming Interface)を経由して各種ライブラリを利用し、SaaSに必要な機能の開発時間を短縮でき、付加価値を持たせる必要がある業務ロジック部分の開発に注力できる。



DIAPLANET SaaS Boost

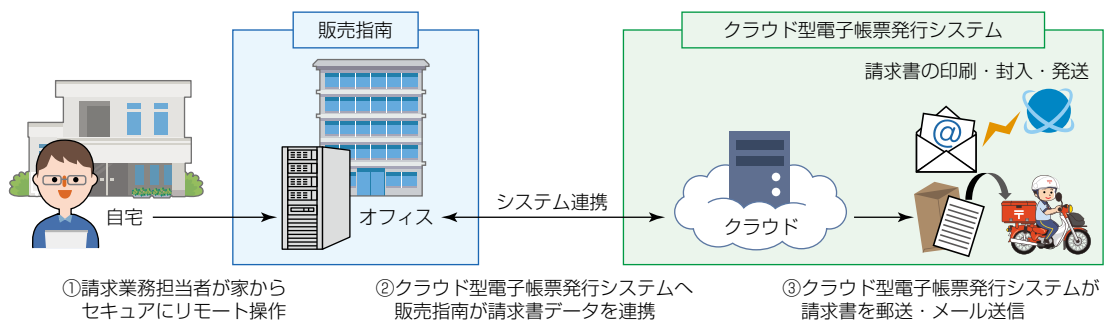
## 請求業務のテレワーク化に対応した販売管理システム“販売指南”



## Sales Management System "Hanbai-Shinan" Supporting Billing with Telework

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対策として、多くの企業でテレワークが導入されている。その中で、請求書を電子化し、テレワークで請求業務を完遂したいというニーズが高まっている。三菱電機ITソリューションズ(株)が提供する販売管理システム“販売指南”は、クラウド型電子帳票発行システムとの連携機能を実装し、このニーズに対応した。主な特長は次のとおりである。

- (1) 販売指南がクラウド型電子帳票発行システムと連携することで、自宅にいながら販売指南の画面操作だけで安全・簡単に請求業務を完遂できる。
- (2) 連携には非同期処理を行うことでネットワーク回線速度等の影響を受けずに、請求書処理実行中でも販売指南のスムーズな各種操作が可能である。



テレワークに対応した請求業務のイメージ

＜取り扱い：三菱電機ITソリューションズ(株) TEL：03-5309-1399＞

## 医療文書電子保存ソリューション

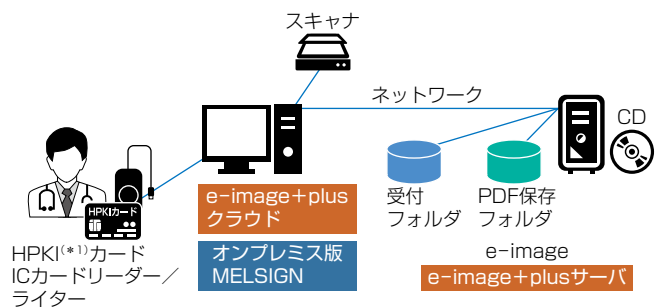


## Electronic Storage Solution for Medical Documents

医療機関(病院、診療所)や薬局では、国によって定められた保存義務のある医療文書が日々大量に発生している。一方で、①厚生労働省の“医療情報システムの安全管理に関するガイドライン”にのっとって日常の診療や監査等で日々大量に発生する文書を電子化文書として正しく取り扱える、②その内容の正確さについても訴訟等で証拠能力を持つレベルで管理できる、③紙の文書として保管する場合は違って保存場所の確保や書類の検索・取り出しに手間がかからない、とする必要があり難しい課題になっていた。

三菱電機ITソリューションズ(株)では、三菱電機グループで培った暗号化技術・署名技術を利用した電子署名ソリューション“MELSIGN”と、豊富な導入実績を持つ電子帳票システムソリューション“e-image+plus”を組み合わせることで、先に述べた課題を解決する“医療文書電子保存ソリューション”を実現した。このソリューションでは、HPKI(Healthcare Public Key Infrastructure)カードとタイムスタンプを用いて署名を行うことで、スキャナ

で読み込んだ電子文書を原本化し、それによって元の紙文書を廃棄可能にする。さらに電子化された大量の文書が簡単に検索可能になる。“医療文書電子保存ソリューション”によって、これまで困難であった医療文書の電子保存を実現し、医療機関のペーパーレス化やDX(Digital Transformation)化を後押しする。



\*1 保健医療福祉分野の公開鍵基盤。本人確認・資格確認に利用する。  
PDF：Portable Document Format

## 医療文書電子保存ソリューションのシステム構成例

＜取り扱い：三菱電機ITソリューションズ(株) TEL：03-5309-1065＞